

所在地：大分県豊後大野市 選定年月日：令和5年3月20日 面積：1416.7ha 選定基準：一(五)

## (1) 概要

豊後大野市の西部に位置する緒方盆地は、大分県南西部に広がる阿蘇火山由来の溶結凝灰岩が覆う丘陵地帯に位置します。盆地中央を蛇行する緒方川の侵食により形成された河岸段丘は、丘陵地帯にあって稀有なまとまった平地ですが、他所と同様に川面と大きな高低差があり、灌漑用水を得る努力が行われています。

緒方盆地では、古くは緒方川支流流域で湧水による迫田(きこた)が開かれ、古代には宇佐(うき)神宮の荘園とされ、平安末期には荘司の緒方氏により低位段丘を潤す水路が開削されたとされます。近世には岡藩により中位段丘を潤す水路が整備され、藩屈指の稲作地帯となりました。近代には、丘陵上に長距離水路が整備され、高位段丘と丘陵部に棚田が開かれました。

耕作面積の確保のために、岡藩が水路より高所に集落を移転させる等して形成された川、水田、水路、集落、山林が連なる土地利用が維持されています。また、水路網や石橋、磨崖仏(まがいぶつ)や石風呂(いしぶろ)等、人々が時代毎の技術を用いて溶結凝灰岩を開発に生かし、文化や信仰を育んできたことを伝える要素が至る所に残されます。

当該文化的景観は、大分県南西部に広がる丘陵地帯において、水路開削により稲作地帯として発展を遂げてきた農村の変遷を伝え、貴重です。



近世までに開かれた水田と近世の水路沿いの集落



近代に開発された棚田

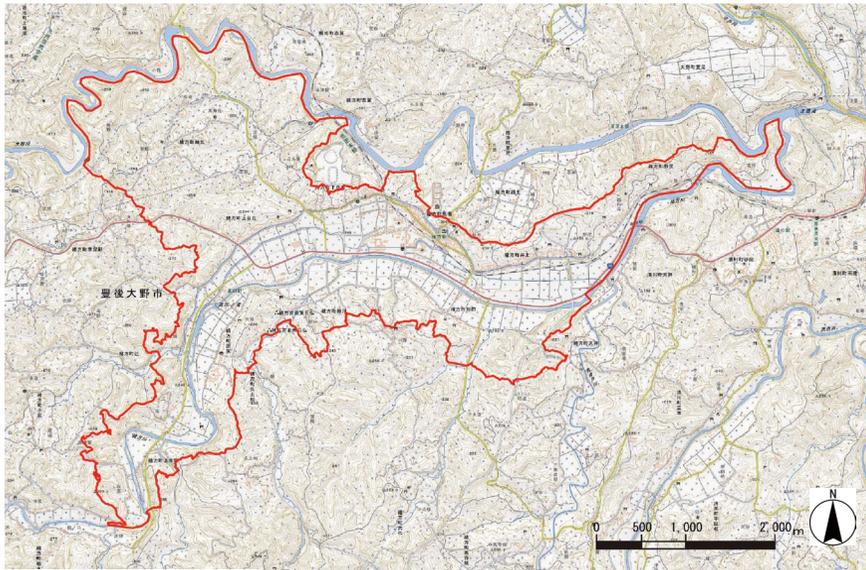


水路沿いの石積みを持つ敷地と石造物



段丘崖に掘られた石風呂

## （2）選定範囲



重要文化的景観の選定範囲

- 重要な構成要素：65件
- 国指定等文化財：緒方宮迫東石仏（史跡）、緒方宮迫西石仏（史跡）、旧緒方村役場（登録有形文化財（建造物））
- 景観重要建造物：0件、景観重要公共施設：0件

## （3）選定による効果

少子高齢化や過疎化が進み、特に選定された地域を含む緒方町は市内でも最も人口減少が進んでいる地域で、集落の維持や棚田を含む農地の保全に喫緊の課題を抱えています。

令和5年3月に選定を受け、現在は整備計画の策定を進めているところですが、すでに井路や農地の保全に、景観保全に配慮した取り組みが行われたり、重要な構成要素の辻河原石風呂では、所有管理する団体が一般向けに体験入浴会を開催するなど、自発的な取り組みが進んでいます。

また、地域住民を主体とした「緒方川と緒方盆地の農村景観」保存活用協議会が発足し、重要文化的景観の保存活用に向けた取り組みも始まりました。



辻河原石風呂  
体験入浴会の準備をする保存会



住民主体で組織した「緒方川と緒方盆地の農村景観」保存活用協議会

## （4）保存活用計画などの基礎情報

- 緒方川と緒方盆地の農村景観～水と石が織りなす暮らしの風景～調査報告書（令和3年3月、豊後大野市教育委員会）
- 緒方川と緒方盆地の農村景観保存活用計画（令和4年7月、豊後大野市）
- ホームページ <https://www.bungo-ohno.jp/article/2022113000027/>

## (5) 活用事例

### 事例44-05 ①

### 宿泊して、田舎の当たり前の日常体験も！「関係人口交流拠点施設」の整備

#### ●行政による取り組み

令和3年に豊後大野市歴史民俗資料館が豊後大野市資料館として移転リニューアルしたことに伴い、空き施設となった旧資料館施設を新たに関係人口交流拠点施設「cocomio(ココミオ)」として活用をスタートさせました。

cocomioは、地域住民との交流を通じて多様な形で関わる人々を創出し、新たなコミュニティを作っていく場所となっており、施設内にはイベントなど、柔軟な利用ができるスペースや、コワーキングスペース、ゲストハウス、カフェがあります。

“田舎ではあたりまえの日常をお手伝いを通して体験してみませんか”というコンセプトのもと、関係人口交流を目指した取り組みである「ボラホリぶんどおの」とも連携し、cocomioは地域内外の人々の架け橋を担っています。

#### cocomio（ココミオ）管理者の声

地域の水の豊かさを連想させる「水脈(mio)」。清らかな水が流れるこの場所から豊かな未来につながるようにという思いを込めました。人々が集い、地域に新しい風が吹くことを祈っています。



水田に囲まれた場所に位置するcocomio  
※屋上改修工事のため足場を設置している



眺めの良いゲストハウス。誰でも気軽に立ち寄りくつろげる  
カフェ、コワーキングスペース等が充実



ボランティアとホリデーを併せた造語「ボラホリ」。関係人口の増加を目指した取り組み  
<https://bungoono-iju.com/matching/>

① 地域内での  
魅力の共有

② 活性化の  
目標の共有

③ 広域外への  
広報

④ 魅力を引き  
出す開発

⑤ 財源の  
確保と運用

⑥ 人づくり・

## (5) 活用事例

### 事例44-05 ②

### 小中学校での文化的景観を活かした実践的な学習 ～観光ツアーやデザイン提案も～

#### ●行政と住民等の協働による取り組み

豊後大野市では、郷土を愛する子どもの育成に力を入れ、市内の小中学校では総合的な時間を活用して「ふるさと学習」に取り組んでいます。

これまでも重要文化的景観選定範囲内にある豊後大野市立緒方小学校、緒方中学校では、井路学習や自然学習を重点的に学んできました。

選定を受け、緒方小学校では4～6年生で文化的景観の学習に取り組み、6年生は学習した成果を文化的景観シンポジウムで、地域資源を見出し、それらを巡る観光ルートを考案し、発表しました。

また、緒方中学校では、美術の時間を使って、本景観の特徴的な風景を題材にデザイン画の作成に取り組みました。その中の1つを重要文化的景観のエンブレムに取り入れ、活用しています。

#### エンブレムに用いられたデザイン画を描いた 緒方中学校生徒の声

エンブレムは約9万年の時をかけて形づくられた原尻の滝と、そこに広がる平地に張り巡らされた井路、そして実る稲穂をイメージしてデザインしました。大人になっても自分が描いたものだと自慢できます。



井路学習をする緒方小学校4年生



緒方郵便局で緒方中学校生徒が考案した  
デザイン画を展示



地域住民などを前に、シンポジウムで発表する  
緒方小学校6年生



緒方中学校生徒が作成したデザイン画を採用した  
重要文化的景観エンブレム

**団体等情報：** 豊後大野市立緒方小学校  
豊後大野市立緒方中学校

<http://syoun.oita-ed.jp/oono/ogata/>  
<http://tyu.oita-ed.jp/oono/ogata/>

① 地域内での  
魅力の共有

② 活性化の  
共有

③ 地域外への  
広報

④ 魅力を引き  
出す開発

⑤ 財源の  
確保と運用

⑥ 人づくり